

## 第9回 まちづくり市民ワークショップ《いばらきMIRAIカフェ》ニュース

○日時:平成 26 年 1 月 18 日(土)、9:30~12:00

○場所:茨木市役所南館 10 階大会議室

### ◆ 次 第 ◆

(開会)

1. はじめに
  - ・ 前回までの振り返り、今回の取組について
2. 久(ひさ)先生からアドバイス
3. グループワーク
  - ・ 提案内容の整理、パネルの作成、発表シナリオの調整
  - ・ 各班から発表
  - ・ 久先生からコメント

4. その他

(閉会)



当日の会場の様子

### ◆第9回ワークショップの概要

第9回ワークショップは 64 人の方に参加していただきました。

- まず、まとめかたについて近畿大学 久(ひさ)先生からアドバイスをいただきました。
- 次に、各班で提案内容を整理し、パネルを作成、発表シナリオを考えていただきました。
- 次回発表する内容のさわり部分を発表してもらい、それについて久先生からコメントをいただきました。

### ◆久先生からのアドバイス概要

- ・ 今日、皆さんの体力に合わせてどこからスタートするのか、という確認作業をしてほしい。小さな事から始めるが少しずつ大きくしていけるようなシナリオができればうれしい。
- ・ 事例を2つ紹介する。1つ目は、コミュニティデザイナーの山崎亮さんが海士町(島根県)で総合計画をつくった時の話です。その計画の中では、「何人で出来るのか」についての仕分けがされている。1人、10人、100人、1000人でできることの4段階あり、仲間の数で、できること、できるものが違って来る。みなさんが考えていることが何人でできることなのかを考えてほしい。
- ・ 2つ目は、宝塚市の女性が、放課後の子どもたちの居場所をつくる事業の事務局をしている事についてです。対象は、幼児から高校生まで、自由に出来る場所を提供している。彼女は、自分の子どもが、創意工夫しながら遊べる場所がほしかったが、自分の地域にはなかったので、まずは1人の友達に相談し賛同してもらった。次に、2人では心もとないのでPTAにお願いして募集をかけた結果、また1人増え、3人でスタートした。そこに、たまたま兵庫県の助成金がつき、それから11年間で6小学校区に広まり、今ではNPO法人化している。1人でも良いのでまず始め、実績をつくって兵庫県に助成金の相談に行ったのがポイントである。始められるところから始めて、仲間を募って実績をつくるというシナリオをつくって進んでほしい。



## ◆各班の「さわり」の発表

### 《1班》 福祉・健康

- ・ おせっかいクラブを立ち上げる。



### 《2班》 福祉・健康

- ・ 食を通した心と体の健康増進をめざした事業を提案する。



### 《3班》 子育て・教育

- ・ 親の意識改革の進め方を、ある内容に特化した。



### 《4班》 子育て・教育

- ・ 今日からつながる「デラックス子ども会」について提案する。



### 《5班》 環境

- ・ 20歳になったら環境人、まず個人からはじめる。



### 《6班》 産業

- ・ いろいろな人が茨木で楽しむしかけづくりを提案する。



《7班》 都市

- ・ 交通に着目し、バスを使って茨木をどう活性化させるかを考える。



《8班》 安全・安心

- ・ 地震を中心に防災意識を高めるために、どのようなことをしたらよいかを考える。



《9班》 文化・生涯学習

- ・ イベントにより元気活気のあるまちにするための「いばログ」を設立する。



《10班》 つながり・協働

- ・ 茨木再発見事業として、心に残る提案をする。



《11班》 つながり・協働

- ・ どこにも負けないプランを用意している。



## ◆久先生からのコメント概要

- ・ 仲間を増やすしかけは、アメ、ムチ、共感の3つがあるが、長続きさせるためには自分の気持ちで動いてもらう「共感」が大切だと思う。その場合、楽しそう、おもしろそうというのがポイントとなる。
- ・ 「デラックス子供会」の「デラックス」が気になった。言葉には力があるので、他の事業も一言で心を動かす工夫を考えてほしい。
- ・ 「おせっかいクラブ」については、馬路村(高知県)の特別村民証のように、ちょっとした遊び心をもたせた会員証をつくって配り歩くと、持っている人は何かしないと、という気持ちになる。次回の皆さんの提案に期待している。



### (感想)

- \* このワークショップが今後どうなっていくのか。引き続き積極的に参加する人、しない人。色々あると思うが、いろんな人が気軽に参加できるものにしたらと思います。
- \* メンバーそれぞれに得意分野があってパネル作りに役立ち、楽しかったです。
- \* 意見を聞く、伝える、理解するのは改めて難しいと思いました。
- \* 班の共通認識にまとまりができた。
- \* 同じ心を違う表現で話し合うので時間がかかるが、その時は心を通じあわせるのが大切である。
- \* 画用紙を使ったのが久しぶりだったので楽しかった。
- \* 話がまとまり、今まで自分でしてきたことにプラスいろいろできるなあと夢がふくらんできました。
- \* 発表に対して、参加者からどんな反応があるのか楽しみです。
- \* 手作りで取り組めて非常に楽しかったです。
- \* 社会人の先輩方のパネル作成と自発的に役割分担、行動しておられて驚きと学びができました。
- \* 若い人のコーディネート力に感心しました。みんなでつくっていくのが楽しかったです。
- \* 継続することに意義あり。
- \* アドバイザーが居てくれて、助かった。少しずつ具体的にパネル作り・・・楽しい。 (など)

## ◆次回(第10回)の予定

日時:2月1日(土)13:00~16:20 場所:茨木市役所南館 10階大会議室  
内容:「成果発表会」



発行:いばらきMIRAIカフェ事務局(茨木市企画財政部政策企画課 TEL072-620-1605)

ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/mirai>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/ibaraki.mirai.project>